

教材教具および題材	学部	授業名・集団名 (主たる教科領域)	執筆者
しごと（木工）の補助具 ～植木鉢の製作にあたって～	高	しごと 2年(Ⅱグループ) (木工)	谷川佳之

<ねらい>

Ⅱグループの仕事で次の目的の補助具を作って、正確な物を作らせることを目指した。

- ①植木鉢の製作にあたり、安全に同じ長さの板を効率よく切断できる補助具
- ②固定するねじの場所をそろえるための補助シート
- ③組み立ての時に安全に、正確にねじ留めができる補助具

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

補助具1は昨年利用したものを板の厚みを調整して再利用した。鋸引きをする時にのこぎりが安定するように溝を作って切るようにした。(写真1, 2)

穴開け補助シートは、透明なシートを使って木の上に置き、穴を開ける場所の目印をつけるようにした。植木鉢のねじ留めの場所を穴をあけると、ねじが同じ高さにならないように2種類のシートを作って調整した。(写真3)



写真1



写真2



写真3

補助具2は板に細木をねじ留めするときずれないようにするために作成した。はじめに細木2本に接着剤をつけてセットし、その上から大きな板を置けるようにした。組み立てて教師が各テーブルごとに補助具を使い、同じ大きさの植木鉢を製作することができた。(写真4～7)



写真4



写真5



写真6



写真7

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

補助具を使って木材を4枚切断したので、同じ大きさにそろえられ、きれいな四角の植木鉢を作ることができた。

住宅建材加工工場から幅10cmの角材をもらい、製材して板材にしている。その板から作れるものを考えた。

杉に似たベイマツは柔らかく加工がしやすい。焼き板にすることで耐水性があがり塗装をしなくても耐久性があり、見た目によくなるので行った。(写真8)

<その他（材料、費用、購入先等）>

10cm幅の家柱 購入先は住宅建材加工工場



写真8